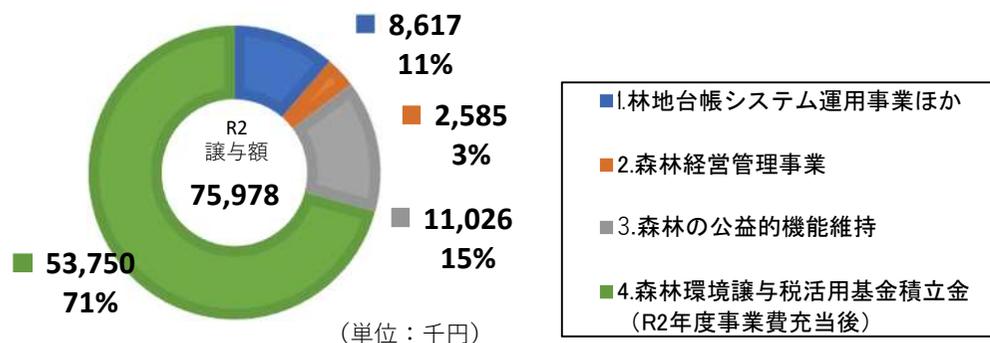


- 本市は秋葉区、西蒲区を中心として、昭和50年代までは主にスギの植林・保育等が行われてきましたが、近年の木材価格低迷などを要因として森林所有者の自発的な森林施業の動きは鈍く、森林所有者の高齢化、権利関係の複雑化、所有者不明森林の増加など、森林整備の促進に支障となっています。
- 令和2年度は、森林環境譲与税を活用し、森林整備の促進など林業活性化を目指し次の取り組みを進めました。
 - ① 基盤情報の整備と運用：森林GIS及び林地台帳システムの運用、航空レーザー計測及び森林資源解析
 - ② 森林経営管理制度の実施：上記①の基盤情報を活用し、森林経営管理法に基づく森林所有者の意向調査
 - ③ 森林の公益的機能の維持：松くい虫被害木の調査及び支障木の伐採、森林ボランティア団体への活動支援
 - ④ 将来の森林整備に向け森林環境譲与税活用基金へ積立て

■ 森林環境譲与税の使途



■ 事業内容

1 林地台帳システム運用事業・スマート林業推進事業

- 森林GIS及び林地台帳システムの運用、航空レーザー計測及び森林資源解析を実施。
- 【事業費】8,617千円（全額譲与税）
- 【実績】システム運用 3台（区版2台、全市版1台）
航空レーザー計測・森林資源解析（秋葉区27.0km²、西蒲区45.9km²）

2 森林経営管理事業

- 森林経営管理法に基づく森林所有者意向調査を実施。
- 【事業費】2,585千円（全額譲与税）
- 【実績】森林所有者の意向調査実施（3地区 1,490筆 190.4ha）

3 森林の公益的機能維持

- 松くい虫被害木調査及び支障木伐採、森林整備ボランティア団体等に対する市単独補助金及び貸出用樹木粉碎機の整備を実施。
- 【事業費】11,026千円
- 【実績】松くい虫被害木調査（北・中央・秋葉・西・西蒲区 463.5ha）
支障木伐採（0.15ha）
森林整備活動補助金（2団体）
貸出用樹木粉碎機の整備（1台）

4 森林環境譲与税活用基金積立金

- 森林環境譲与税活用基金へ積立て。
- 【基金残高】53,750千円（上記1～3事業への充当分を差し引いた額）

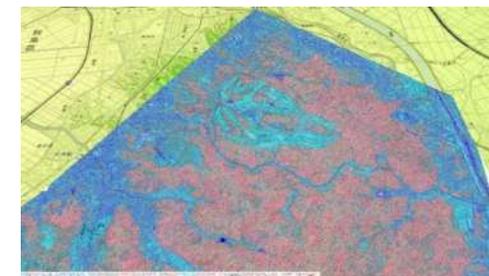
■ 工夫・留意した点

- 林地台帳システム運用事業は、所有者情報等の精度向上のため、税部門から情報提供を受けられる仕組みを活用した。
- スマート林業推進事業に取り組み、森林資源情報の高度化を図った。
- 森林経営管理事業は、意向調査対象地区を3地区とし面積をR元年度の4倍に拡大して制度の推進を図った。
- R2年度より市単独補助事業に取り組み、森林環境譲与税の更なる活用を促進した。

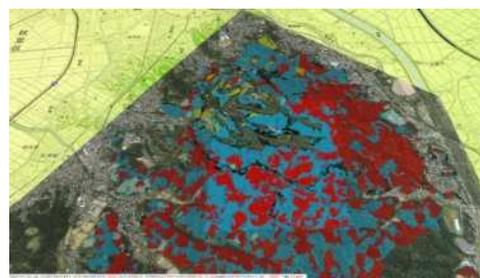
■ 林地台帳システム運用事業 及び スマート林業推進事業の成果



CS立体図



特徴量画像



樹種区分図



路網図

■ 森林経営管理事業 及び 森林の公益的機能維持の成果



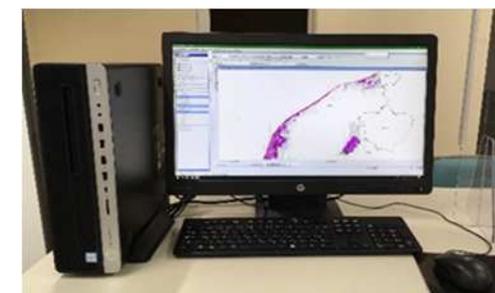
森林所有者説明会



貸出用樹木粉碎機

※ 森林経営管理制度に基づく森林所有者説明会の様子及び 森林整備ボランティア団体等への貸出用として整備した樹木粉碎機。

※ スマート林業推進事業により実施した航空レーザー計測及び森林資源解析の成果データの一例。



林地台帳（森林GIS）システム